

第 23 回岐阜市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 次第

日時 令和 5 年 1 月 19 日（木）

1 発生状況について

資料 1

2 岐阜県の対応について

資料 2

【配布資料】

資料 1 岐阜市における新型コロナウイルス感染症の感染者の発生状況について(R5.1.18 公表時点)

資料 2 岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会(第 53 回)対策本部本部員会議(第 65 回)

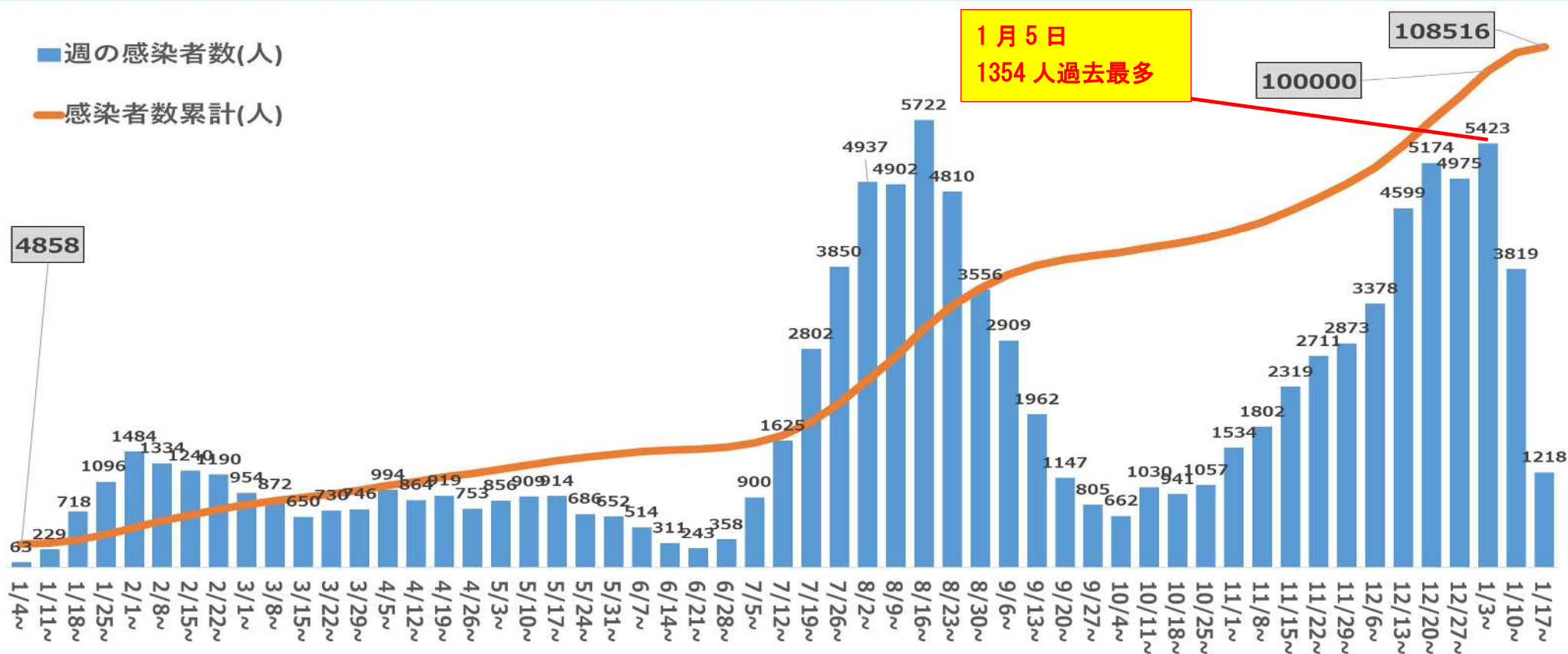
岐阜市における新型コロナウイルス感染症の感染者の発生状況について（R5.1.18 公表時点）

1 感染者数推移（週計）

- ・ 累計108,516人の感染者が発生。（9/27以降は、岐阜県が公表した「県内居住地別陽性者数」のうち、居住地が岐阜市である陽性者数）
- ・ 一週間の人口10万人あたりの感染者数は、1/12～1/18の一週間において**895.53人**となった。

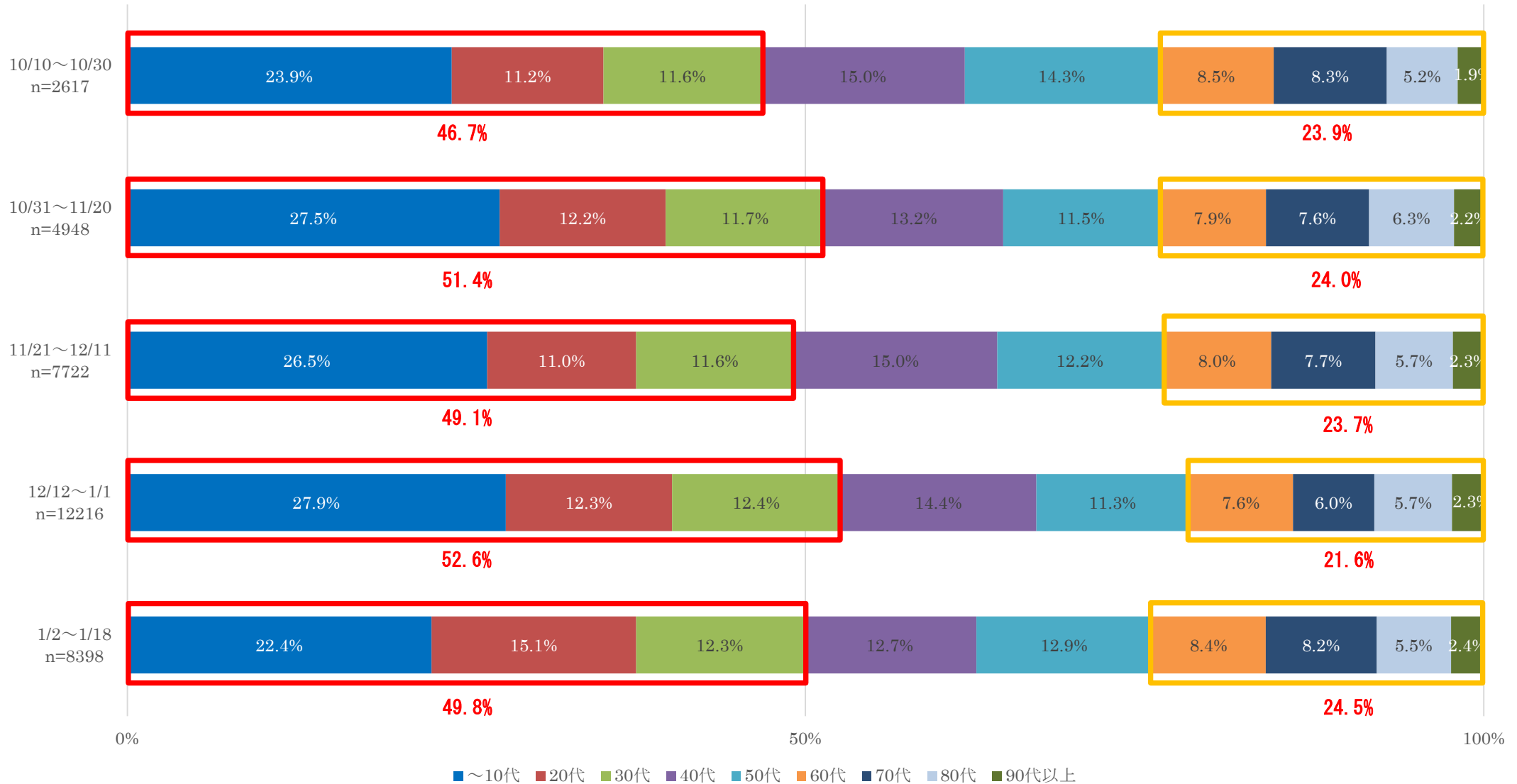
参考（1/12～1/18での比較） 全国：694.33人 岐阜県：877.53人 愛知県：770.15人（厚生労働省公表資料より算出）

一週間あたりの新規感染者数の推移（R4.1.4～）



2 年代別割合の比較（令和 4 年 10 月 10 日以降）

・30代以下が49.8%、60代以上が24.5%となっている。



※割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない場合があります。

岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会（第 5 3 回）
対策本部本部員会議（第 6 5 回）

日 時：令和 5 年 1 月 1 9 日（木）

1 5 : 1 5 ~

場 所：県庁 2 0 階 2 0 0 1 会議室

- | | | |
|---|---------------------|------|
| 1 | 感染状況 | 資料 1 |
| 2 | ワクチン接種状況 | 資料 2 |
| 3 | 現在のレベル判断 | 資料 3 |
| 4 | 岐阜県医療ひっ迫防止対策強化宣言（案） | 資料 4 |

**岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会（第53回） 対策本部本部員会議（第65回） 出席者名簿**

日時：令和5年1月19日（木） 15：15～
場所：岐阜県庁20階 会議室

1 市町村

市名	氏名等	備考	町村名	氏名等	備考
岐阜市	柴橋 正直 市長	T V	岐南町	小島 英雄 町長	T V
大垣市	石田 仁 市長	T V	笠松町	古田 聖人 町長	T V
高山市	西倉 良介 副市長	T V	養老町	川地 憲元 町長	T V
多治見市	古川 雅典 市長	T V	垂井町	片岡 兼男 副町長	T V
関市	尾関 健治 市長	T V	関ヶ原町	西脇 康世 町長	T V
中津川市	青山 節児 市長	T V	神戸町	藤井 弘之 町長	T V
美濃市	武藤 鉄弘 市長	T V	輪之内町	木野 隆之 町長	T V
瑞浪市	水野 光二 市長	T V	安八町	岡田 武史 副町長	T V
羽島市	石黒 恒雄 副市長	T V	揖斐川町	長屋 憲幸 副町長	T V
恵那市	大塩 康彦 副市長	T V	大野町	宇佐美 晃三 町長	T V
美濃加茂市	久保田 芳典 健康子ども課長	T V	池田町	岡崎 和夫 町長	T V
土岐市	加藤 淳司 市長	T V	北方町	戸部 哲哉 町長	T V
各務原市	浅野 健司 市長	T V	坂祝町	林 英直 総務課長	T V
可児市	坪内 豊 企画部長	T V	富加町	板津 徳次 町長	T V
山県市	森 正和 健康介護課長	T V	川辺町	佐藤 光宏 町長	T V
瑞穂市	森 和之 市長	T V	七宗町	渡辺 豊明 参事	T V
飛騨市	湯之下 明宏 副市長	T V	八百津町	金子 政則 町長	T V
本巣市	大野 一彦 副市長	T V	白川町	佐伯 正貴 町長	T V
郡上市	日置 敏明 市長	T V	東白川村	桂川 憲生 副村長	T V
下呂市	山内 登 市長	T V	御嵩町	寺本 公行 副町長	T V
海津市	近藤 康成 健康福祉部長	T V	白川村	成原 茂 村長	T V

2 各種団体

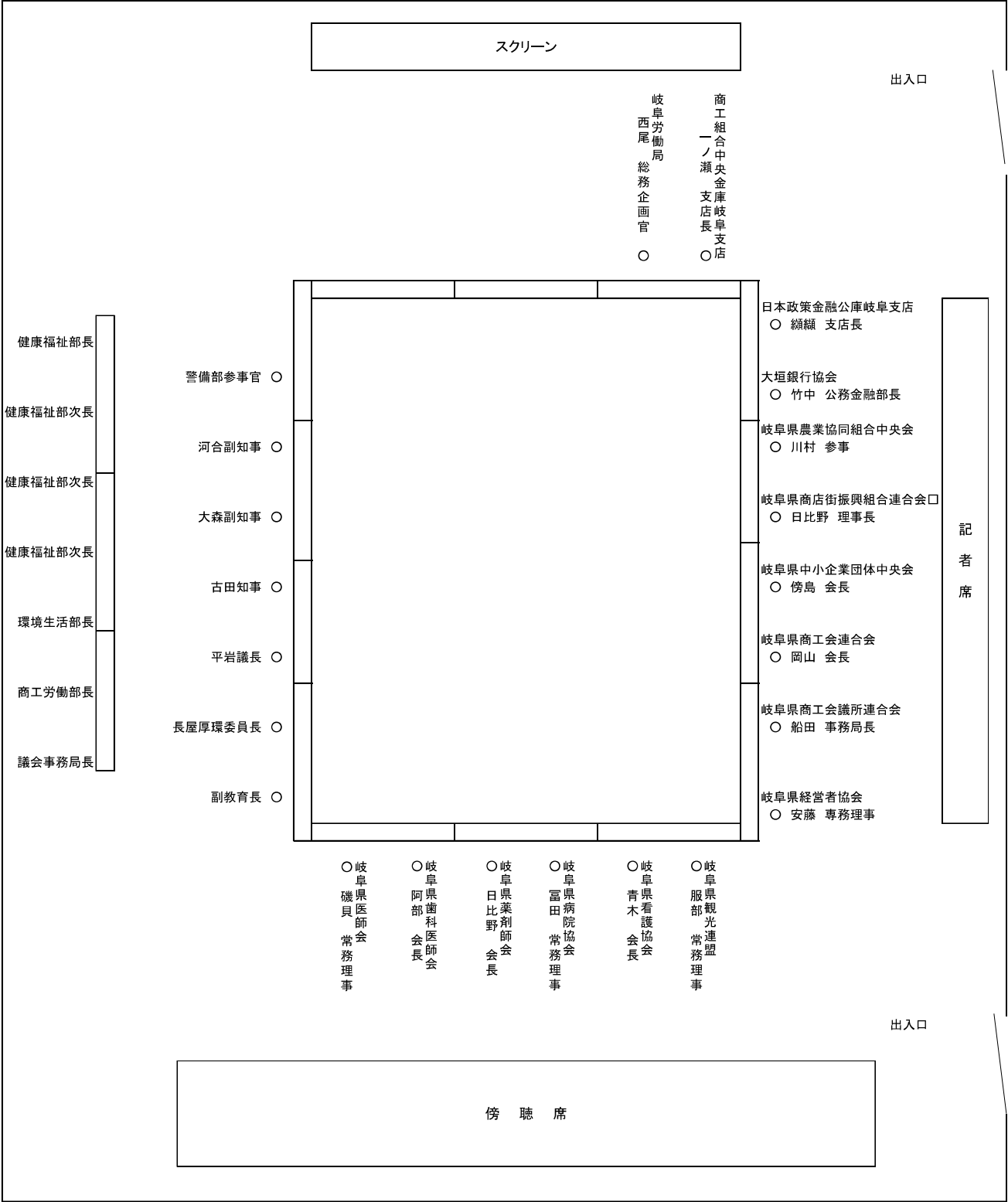
団体名	氏名等	団体名	氏名等
岐阜県医師会	磯貝 光治 常務理事	岐阜県商工会連合会	岡山 金平 会長
岐阜県歯科医師会	阿部 義和 会長	岐阜県中小企業団体中央会	傍島 茂夫 会長
岐阜県薬剤師会	日比野 靖 会長	岐阜県商店街振興組合連合会	日比野 豊 理事長
岐阜県病院協会	富田 栄一 常務理事	岐阜県農業協同組合中央会	川村 規明生 参事
岐阜県看護協会	青木 京子 会長	大垣銀行協会	竹中 哲夫 公務金融部長
岐阜県観光連盟	服部 敬 常務理事	日本政策金融公庫 岐阜支店	瀬瀬 和人 支店長
岐阜県経営者協会	安藤 正弘 専務理事	商工組合中央金庫 岐阜支店	一ノ瀬 浩道 支店長
岐阜県商工会議所連合会	船田 淳 事務局長	岐阜労働局	西尾 方宏 総務企画官

3 県

	氏名		氏名
知事	古田 肇	健康福祉部長	堀 裕行
議長	平岩 正光	子ども・女性局長	村田 嘉子
厚生環境委員会委員長	長屋 光征	商工労働部長	崎浦 良典
副知事	大森 康宏	観光国際局長	丸山 淳
副知事	河合 孝憲	農政部長	雨宮 功治
警備部参事官	田口 慎治	林政部長	高井 峰好
副教育長	矢本 哲也	県土整備部長	大野 真義
会計管理者	北川 幹根	都市建築部長	野崎 眞司
秘書広報統括監	高橋 洋子	都市公園整備局長	舟久保 敏
総務部長	尾鼻 智	議会事務局長	山口 義樹
清流の国推進部長	長尾 安博	人事委員会事務局長	田中 誠司
デジタル推進局長	市橋 貴仁	監査委員事務局長	大脇 哲也
危機管理部長	内木 禎	労働委員会事務局長	樋口 博久
環境生活部長	渡辺 正信	健康福祉部次長	渡辺 幸司
県民文化局長	籠橋 智基		

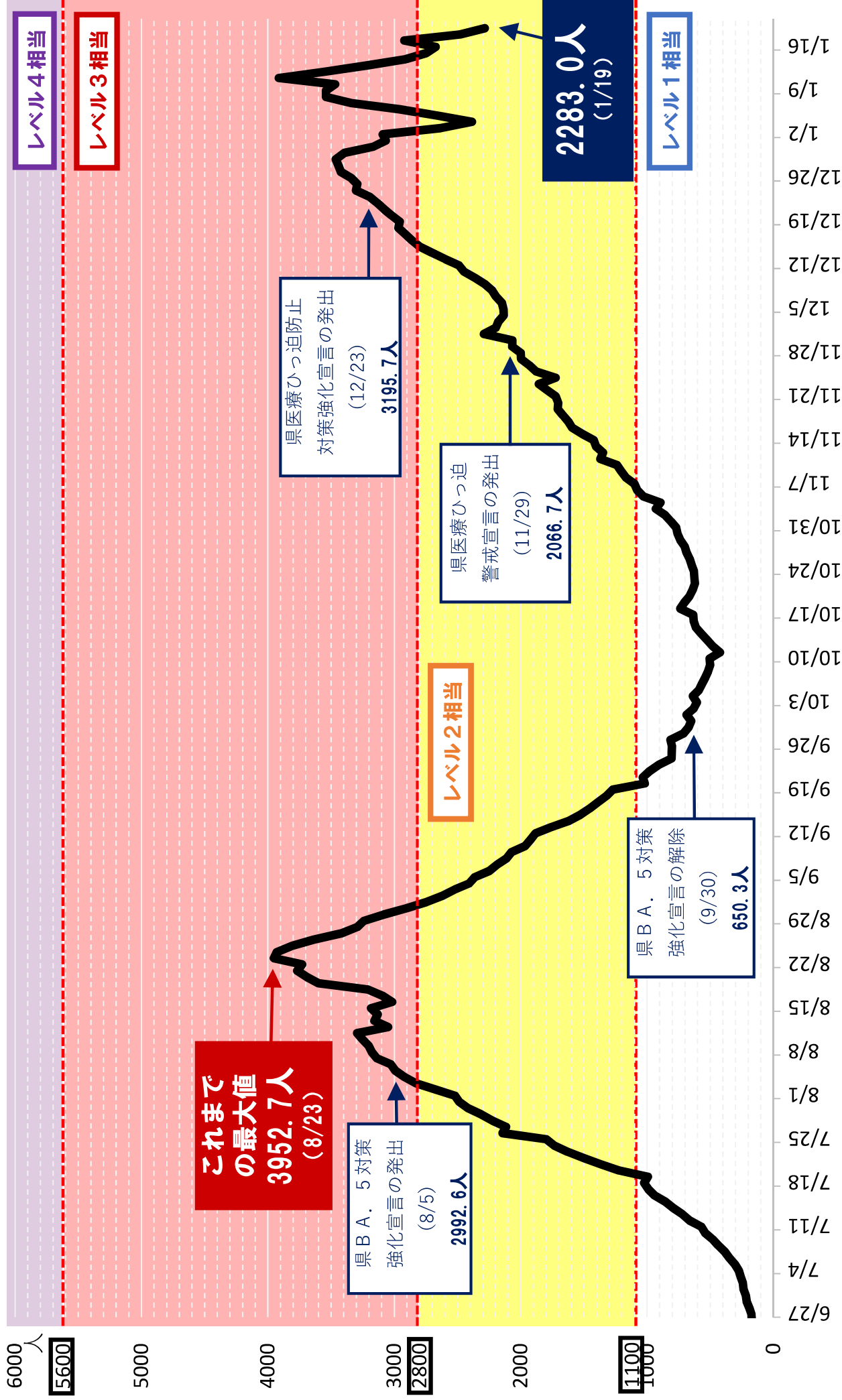
岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会(第53回) 対策本部本部員会議(第65回) 配席図

令和5年1月19日(木)15:15～
20階会議室

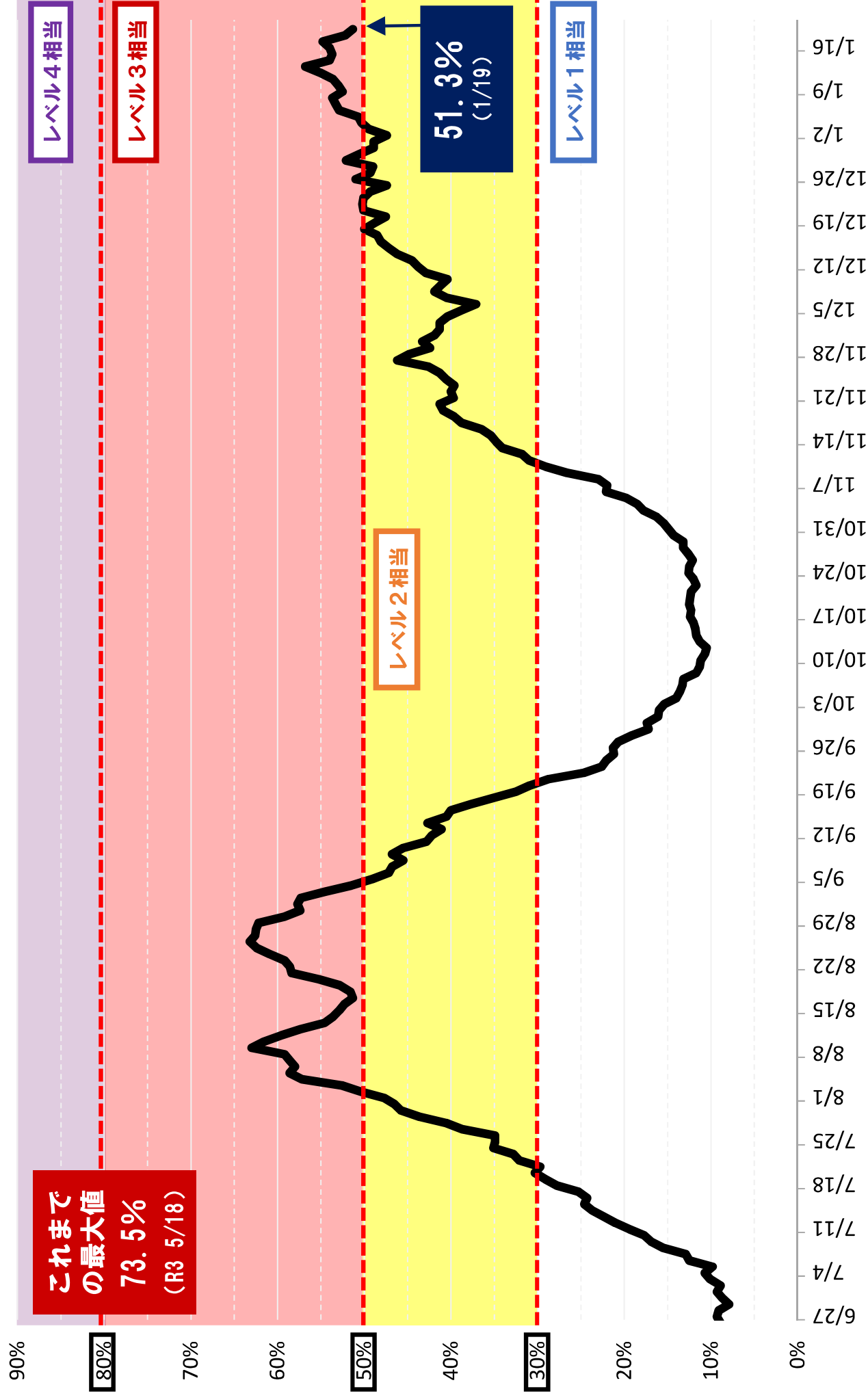


1日あたり新規陽性者数（1週間平均）の推移

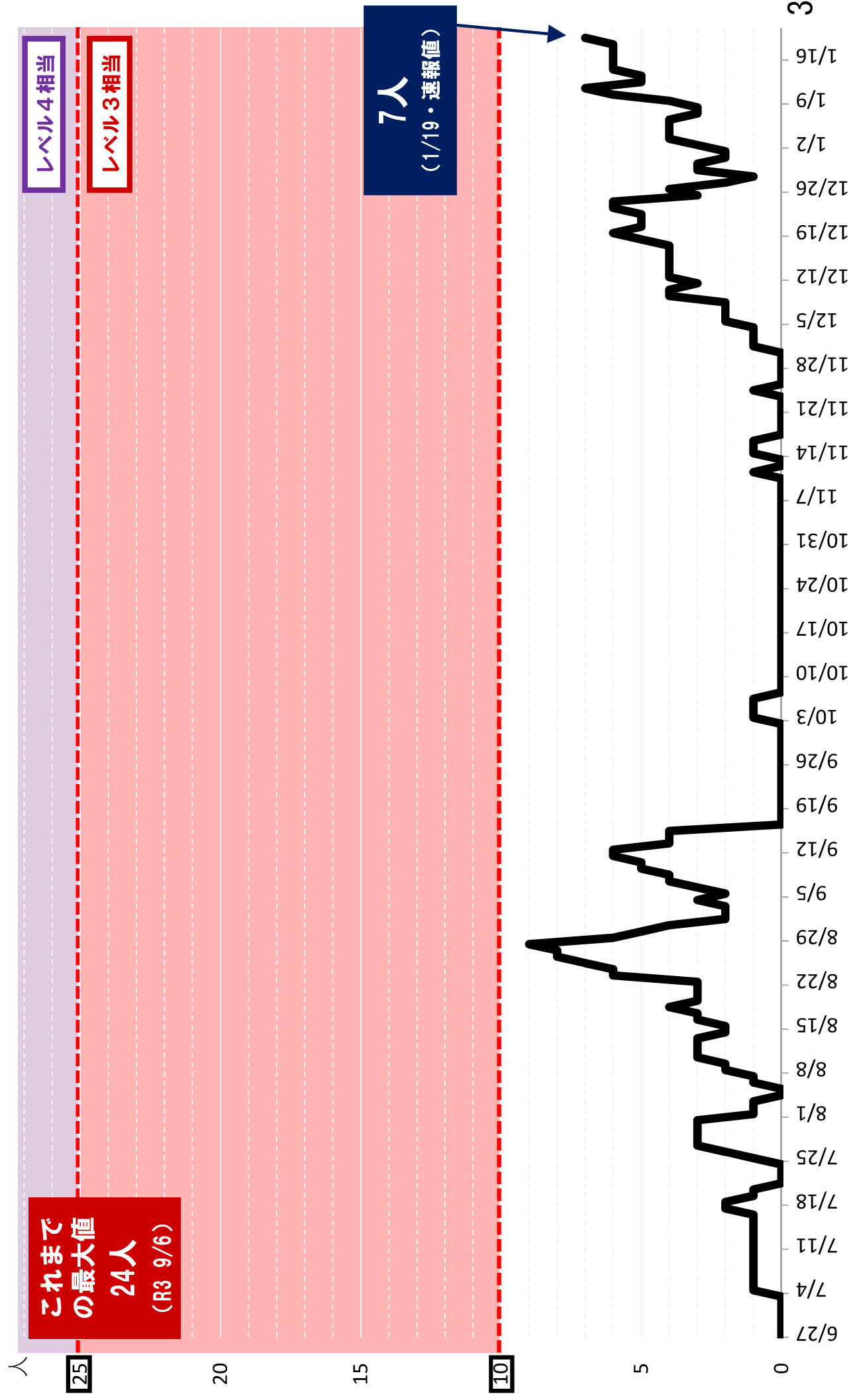
資料 1



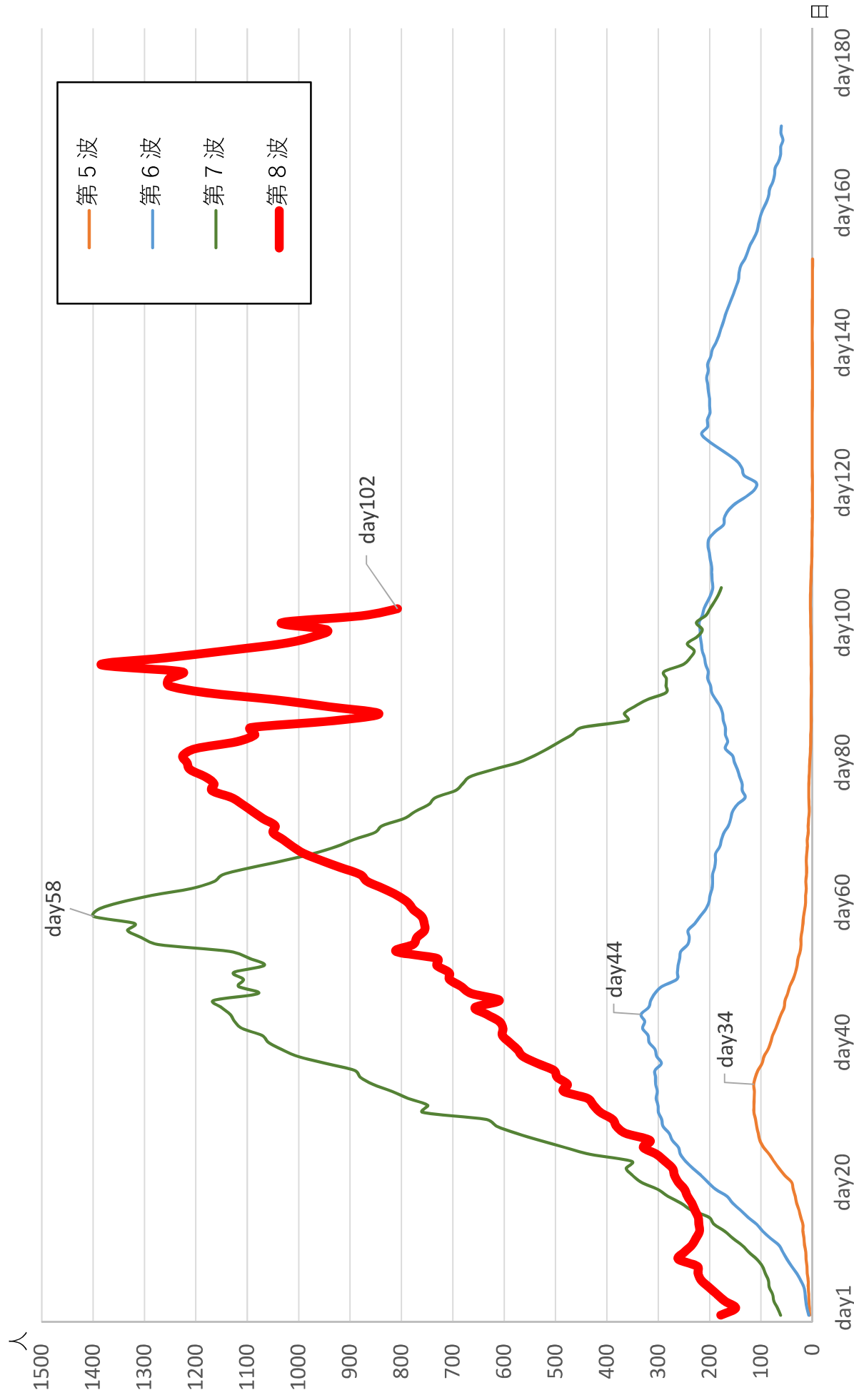
県の病床使用率の推移



重症者数の推移



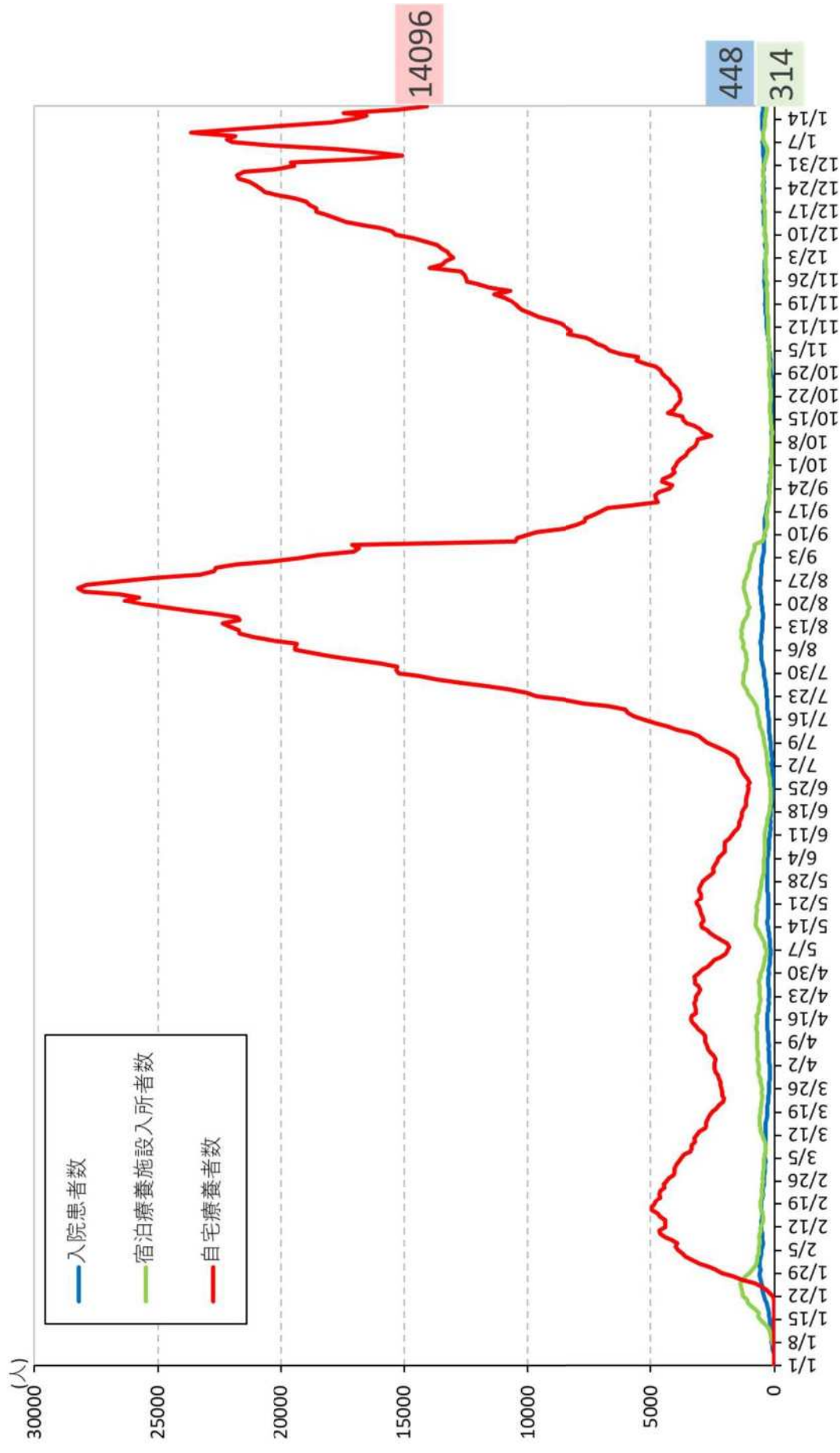
波毎の比較 (新規陽性者数 (10万人対、7日間移動合計))



※各波において、新規陽性者数 (10万人対、7日間移動合計) が初めて5人を上回った日をday1として整理 (ただし、第7波以降は波の初日をday1とする)

療養者数の推移

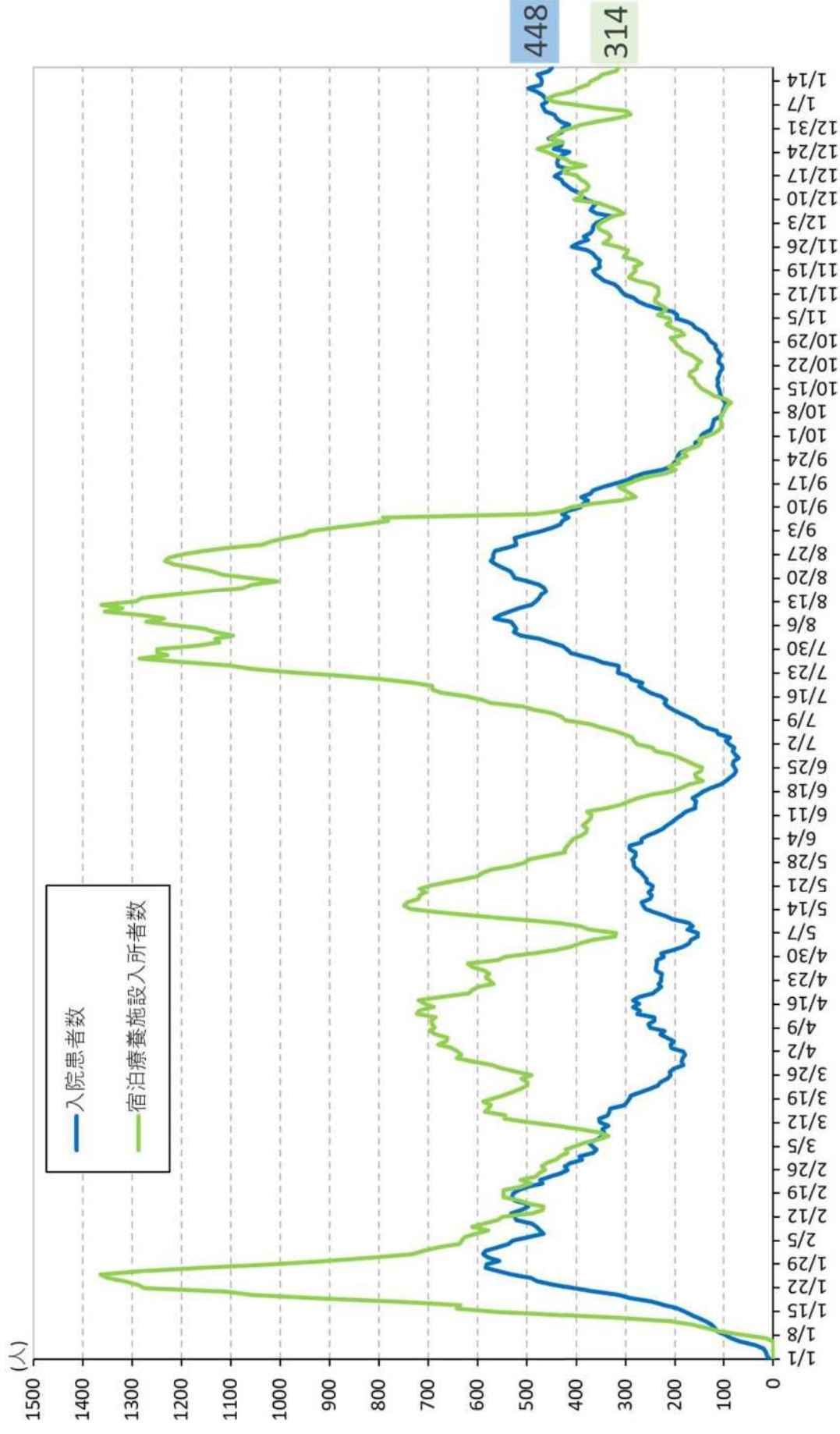
1月18日時点



※自宅療養者数は、「発生届対象者分」 + 「発生届対象外者分の推計」を使用

入院患者数、宿泊療養施設入所者数の推移

1月18日時点



市町村別の感染状況(1月18日公表分まで)

※ 順位：陽性者数・人口10万対の多い順
 ※ 人口：総務省統計局「令和2年国勢調査 人口等基本集計」(R2.10.1時点)
 ※ この資料のデータは、各医療機関がハーススに入力した個別陽性者毎のデータを使用（国公表数とは一致しない）

市町村	人口	陽性者数					
		直近一週間（1/12～1/18）				第8波以降	累計
			順位	人口10万対	順位		
岐阜市	402,557人	3,605人	1	895.53	19	42,909人	107,844人
大垣市	158,286人	1,268人	3	801.08	29	17,039人	41,043人
高山市	84,419人	619人	8	733.25	35	9,688人	20,128人
多治見市	106,732人	1,068人	4	1,000.64	5	10,671人	25,800人
関市	85,283人	797人	6	934.54	14	8,964人	21,152人
中津川市	76,570人	583人	10	761.39	33	8,377人	16,866人
美濃市	19,247人	134人	32	696.21	36	1,914人	4,249人
瑞浪市	37,150人	302人	15	812.92	25	3,500人	8,811人
羽島市	65,649人	621人	7	945.94	13	6,511人	16,930人
恵那市	47,774人	323人	13	676.10	38	5,329人	10,339人
美濃加茂市	56,689人	587人	9	1,035.47	4	5,882人	16,970人
土岐市	55,348人	507人	11	916.02	16	4,909人	13,243人
各務原市	144,521人	1,379人	2	954.19	11	16,016人	38,348人
可児市	99,968人	980人	5	980.31	8	9,221人	26,322人
山県市	25,280人	229人	22	905.85	18	2,424人	6,158人
瑞穂市	56,388人	453人	12	803.36	27	6,625人	16,334人
飛騨市	22,538人	174人	27	772.03	32	2,839人	4,633人
本巣市	32,928人	265人	18	804.79	26	3,505人	8,461人
郡上市	38,997人	309人	14	792.37	31	4,008人	9,009人
下呂市	30,428人	254人	20	834.76	24	3,468人	6,497人
海津市	32,735人	289人	17	882.85	21	3,039人	7,292人
岐南町	25,881人	291人	16	1,124.38	2	3,140人	8,214人
笠松町	22,208人	195人	23	878.06	23	2,430人	5,960人
養老町	26,882人	262人	19	974.63	9	2,583人	6,359人
垂井町	26,402人	233人	21	882.51	22	2,408人	5,858人
関ヶ原町	6,610人	34人	39	514.37	39	519人	1,212人
神戸町	18,585人	128人	33	688.73	37	1,854人	4,617人
輪之内町	9,654人	86人	35	890.82	20	822人	2,263人
安八町	14,355人	136人	31	947.41	12	1,552人	3,530人
揖斐川町	19,529人	156人	30	798.81	30	1,869人	4,345人
大野町	22,041人	177人	25	803.05	28	2,374人	5,510人
池田町	23,360人	177人	25	757.71	34	2,601人	5,945人
北方町	18,139人	180人	24	992.34	7	1,933人	4,915人
坂祝町	8,071人	85人	36	1,053.15	3	728人	2,196人
富加町	5,626人	56人	38	995.38	6	569人	1,578人
川辺町	9,860人	90人	34	912.78	17	1,171人	2,299人
七宗町	3,402人	15人	40	440.92	40	239人	534人
八百津町	10,195人	158人	29	1,549.78	1	997人	2,189人
白川町	7,412人	71人	37	957.91	10	614人	1,199人
東白川村	2,016人	7人	41	347.22	41	135人	338人
御嵩町	17,516人	161人	28	919.16	15	1,621人	3,855人
白川村	1,511人	2人	42	132.36	42	165人	311人
県外その他						0人	2,838人

インフルエンザ定点当たり報告数推移

区分	第49週	第50週	第51週	第52週	第1週
	12/5-12/11	12/12-12/18	12/19-12/25	12/26-1/1	1/2-1/8
北海道	0.11	0.46	1.73	2.76	5.49
青森県	0.14	1.25	2.27	1.88	3.27
岩手県	1.57	2.84	2.56	1.94	1.70
宮城県	0.05	0.29	1.57	1.24	1.80
秋田県	0.20	0.24	0.24	0.41	1.20
山形県	0.05	0.09	0.14	0.52	0.77
福島県	0.07	0.10	0.24	1.19	2.66
茨城県	0.03	0.28	0.43	1.33	4.41
栃木県	0.11	0.30	0.54	0.30	2.36
群馬県	0.14	0.11	1.05	1.57	3.01
埼玉県	0.18	0.48	1.23	2.08	4.31
千葉県	0.18	0.55	1.15	2.57	4.71
東京都	0.50	1.12	2.30	2.94	3.60
神奈川県	0.45	1.05	2.79	3.70	3.96
新潟県	0.02	0.03	0.08	0.43	2.33
富山県	0.58	1.33	4.21	5.96	3.56
石川県	0.10	0.48	0.90	1.31	4.27
福井県	0.03	0.16	0.14	0.35	3.30
山梨県	0.07	0.48	1.44	2.27	3.27
長野県	0.10	0.21	0.53	1.18	3.25
岐阜県	0.02	0.01	0.16	0.84	2.70
静岡県	0.26	0.40	1.02	1.40	3.19
愛知県	0.06	0.13	0.33	0.80	4.65
三重県	0.18	0.32	0.79	1.06	4.41
滋賀県	0.20	0.05	0.38	0.97	3.25
京都府	0.41	0.57	1.48	1.84	5.45
大阪府	0.65	0.82	2.21	3.73	8.26
兵庫県	0.21	0.31	0.78	1.27	4.11
奈良県	0.18	0.24	0.69	0.80	3.96
和歌山県	0.10	0.06	0.12	0.65	4.29
鳥取県	—	0.07	0.07	0.52	4.17
島根県	—	—	—	0.50	2.11
岡山県	0.45	0.43	0.57	1.35	3.65
広島県	0.02	0.04	0.06	0.67	2.40
山口県	—	0.02	0.09	0.64	3.05
徳島県	0.11	0.11	0.11	0.61	4.65
香川県	0.06	0.06	0.13	0.33	3.64
愛媛県	0.11	0.10	0.20	1.07	7.39
高知県	0.07	—	0.09	0.38	2.87
福岡県	0.25	0.91	1.83	4.19	9.62
佐賀県	—	0.05	0.21	1.72	10.08
長崎県	0.10	0.07	0.23	1.11	7.11
熊本県	0.50	1.14	1.38	1.88	5.46
大分県	0.10	0.26	0.59	1.24	5.14
宮崎県	0.09	0.21	0.95	3.29	12.37
鹿児島県	0.15	0.11	0.24	1.02	6.58
沖縄県	0.25	0.80	2.91	9.89	17.77
総数	0.25	0.53	1.24	2.05	4.73

【参考】過去の流行状況

○全国総数

昨年同期	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
2018/19年	1.70	3.35	8.05	11.17	16.30

○岐阜県

昨年同期	0.02	-	0.02	0.03	0.02
2018/19年	1.47	3.46	9.24	20.33	49.12

※ 数値は、1 定点医療機関当たりの週別患者報告数

※ 発令基準

 ：流行入り（1 以上）

 ：注意報（10 以上）

 ：警報（30 以上）

県内における季節性インフルエンザの発生状況

直近の一週間(1/9～1/15)における定点あたり報告数は、
前週比 約1.5倍となる4.02となった

(単位：人)

シーズン	第36～39週	第40～43週	第44～47週	第48～51週	第52～53週※2	第4～7週	第8～11週	第12～15週	第16～19週	第20～23週	第24～27週	第28～31週	第32～35週	合計
2018－ 2019年	9/3～9/30	10/1～10/28	10/29～11/25	11/26～12/23	12/24～1/20	1/21～2/17	2/18～3/17	3/18～4/14	4/15～5/12	5/13～6/9	6/10～7/7	7/8～8/4	8/5～9/1	28,848
	25	44	123	1,302	16,152	8,286	1,371	487	489	425	112	19	13	
2019－ 2020年	9/2～9/29	9/30～10/27	10/28～11/24	11/25～12/22	12/23～1/19	1/20～2/16	2/17～3/15	3/16～4/12	4/13～5/10	5/11～6/7	6/8～7/5	7/6～8/2	8/3～8/30	16,556
	71	75	431	2,939	8,267	3,417	1,226	115	12	1	1	1	0	
2020－ 2021年	8/31～9/27	9/28～10/25	10/26～11/22	11/23～12/20	12/21～1/24	1/25～2/21	2/22～3/21	3/22～4/18	4/19～5/16	5/17～6/13	6/14～7/11	7/12～8/8	8/9～9/5	42
	1	4	4	4	8	5	6	8	0	1	0	0	1	
2021－ 2022年	9/6～10/3	10/4～10/31	11/1～11/28	11/29～12/26	12/27～1/23	1/24～2/20	2/21～3/20	3/21～4/17	4/18～5/15	5/16～6/12	6/13～7/10	7/11～8/7	8/8～9/4	41
	1	2	3	4	10	3	4	0	0	1	0	6	7	
2022－ 2023年	9/5～10/2	10/3～10/30	10/31～11/27	11/28～12/25	12/26～1/15 ※3									683
	1	2	5	17	658									

※1：県内のインフルエンザ定点医療機関（87箇所）における総報告数

※3：第2週（1/9～1/15）までの報告数

※2：2020/2021年は第52～53週と第1～3週の合計。その他の年は第52週と第1～3週の合計

県内における季節性インフルエンザの発生状況

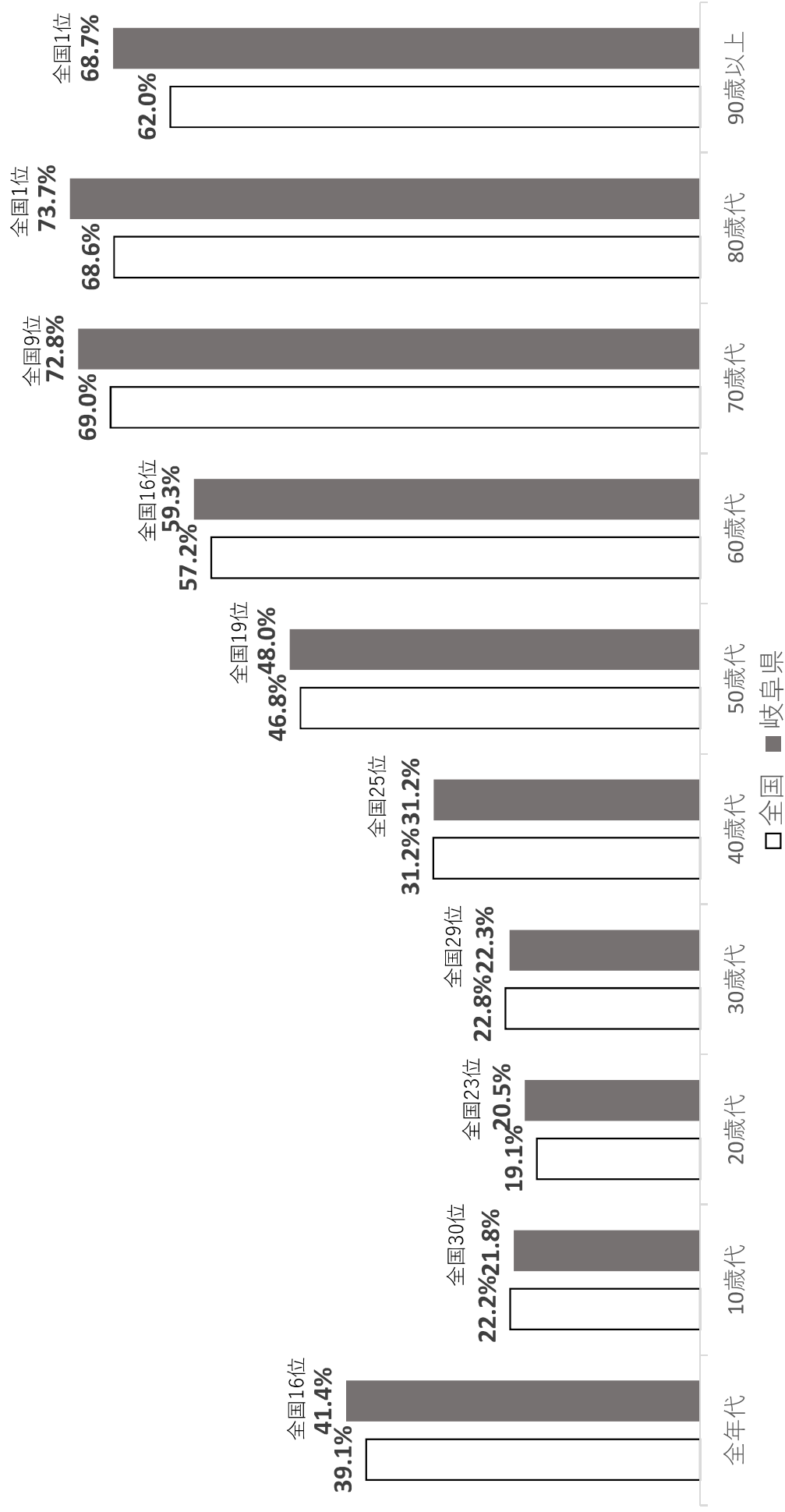
令和5年第2週 年代別・圏域別定点報告総数 (単位：人)

年代	県全体		岐阜		西濃		中濃		東濃		飛騨	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1歳未満	3	0.9%	3	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1～9	94	26.9%	46	28.2%	9	23.1%	27	32.9%	6	21.4%	6	15.8%
10代	90	25.7%	43	26.4%	10	25.6%	21	25.6%	7	25.0%	9	23.7%
20代	67	19.1%	35	21.5%	11	28.2%	10	12.2%	3	10.7%	8	21.1%
30代	24	6.9%	16	9.8%	3	7.7%	3	3.7%	0	0.0%	2	5.3%
40代	26	7.4%	11	6.7%	1	2.6%	6	7.3%	3	10.7%	5	13.2%
50代	17	4.9%	5	3.1%	1	2.6%	7	8.5%	3	10.7%	1	2.6%
60代	14	4.0%	0	0.0%	2	5.1%	4	4.9%	1	3.6%	7	18.4%
70代	5	1.4%	2	1.2%	1	2.6%	1	1.2%	1	3.6%	0	0.0%
80代以上	10	2.9%	2	1.2%	1	2.6%	3	3.7%	4	14.3%	0	0.0%
合計	350	-	163	-	39	-	82	-	28	-	38	-

※県内のインフルエンザ定点医療機関（87箇所）における総報告数

資料2

オミクロン株対応ワクチン接種率（人口ベース：1/17時点）



市町村別 オミクロン株対応ワクチン接種率

1月17日時点

市町村名	総人口	対象者	接種回数	接種率	
				総人口ベース	対象者ベース
岐阜市	404,304	319,717	155,332	38.4%	48.6%
大垣市	159,894	129,937	66,274	41.4%	51.0%
高山市	85,463	71,438	34,617	40.5%	48.5%
多治見市	108,158	88,198	41,509	38.4%	47.1%
関市	86,273	70,305	37,609	43.6%	53.5%
中津川市	76,348	62,508	31,430	41.2%	50.3%
美濃市	19,785	16,324	9,093	46.0%	55.7%
瑞浪市	36,482	29,906	15,458	42.4%	51.7%
羽島市	67,106	54,298	33,232	49.5%	61.2%
恵那市	48,371	40,402	20,751	42.9%	51.4%
美濃加茂市	57,171	44,424	18,761	32.8%	42.2%
土岐市	56,547	46,161	23,196	41.0%	50.3%
各務原市	146,136	115,448	57,221	39.2%	49.6%
可児市	100,765	80,235	38,238	37.9%	47.7%
山県市	25,983	21,645	12,930	49.8%	59.7%
瑞穂市	55,518	43,447	18,932	34.1%	43.6%
飛騨市	23,028	19,758	12,033	52.3%	60.9%
本巣市	33,302	26,943	13,043	39.2%	48.4%
郡上市	39,761	32,902	20,031	50.4%	60.9%
下呂市	30,738	25,990	15,065	49.0%	58.0%
海津市	32,980	27,798	14,554	44.1%	52.4%
岐南町	26,272	20,059	9,382	35.7%	46.8%
笠松町	21,985	17,532	9,097	41.4%	51.9%
養老町	27,381	23,055	12,552	45.8%	54.4%
垂井町	26,547	22,113	13,725	51.7%	62.1%
関ヶ原町	6,645	5,764	3,903	58.7%	67.7%
神戸町	18,704	15,384	7,922	42.4%	51.5%
輪之内町	9,403	7,824	4,343	46.2%	55.5%
安八町	14,623	12,014	6,754	46.2%	56.2%
揖斐川町	19,953	17,055	11,557	57.9%	67.8%
大野町	22,347	18,287	9,399	42.1%	51.4%
池田町	23,186	18,907	9,212	39.7%	48.7%
北方町	18,550	14,706	6,785	36.6%	46.1%
坂祝町	8,023	6,424	3,349	41.7%	52.1%
富加町	5,696	4,585	2,524	44.3%	55.0%
川辺町	10,013	8,315	4,802	48.0%	57.8%
七宗町	3,475	3,062	1,995	57.4%	65.2%
八百津町	10,446	8,881	5,339	51.1%	60.1%
白川町	7,634	6,577	4,295	56.3%	65.3%
東白川村	2,121	1,855	1,386	65.3%	74.7%
御嵩町	17,968	14,902	8,568	47.7%	57.5%
白川村	1,520	1,306	925	60.9%	70.8%
県計	1,996,605	1,616,391	827,123	41.4%	51.2%
岐阜圏域	799,156	633,795	315,954	39.5%	49.9%
西濃圏域	361,663	298,138	160,195	44.3%	53.7%
中濃圏域	369,131	298,791	155,990	42.3%	52.2%
東濃圏域	325,906	267,175	132,344	40.6%	49.5%
飛騨圏域	140,749	118,492	62,640	44.5%	52.9%

現在のレベル判断

資料 3

本県のレベル判断基準

下記に示した指標、保健医療の負荷の状況及び社会経済活動の状況に関する事象を勘案して総合的に判断する。

レベル		指 標		事 象
1	感染 小康期	病床使用率	30%未満	【保健医療の負荷の状況】 外来医療・入院医療ともに負荷は小さい。
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	1,100人 未満	
2	感染 拡大期	病床使用率	30%	【保健医療の負荷の状況】 - 診療・検査医療機関（発熱外来）の患者数が急増し負荷が高まり始める。 - 救急外来の受診者数が増加。 - 医療従事者の欠勤者数が上昇傾向。 【社会経済活動の状況】 - 職場の欠勤者が増加し、業務継続に支障を生じる事業者が出始める。
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	1,100人	
3	医療負荷 増大期	病床使用率	50%	【保健医療の負荷の状況】 - 発熱外来・救急外来に多くの患者が殺到、重症化リスクの高い者がすぐに受診できない状況が発生。 - 救急搬送困難事案が急増。 (県全体で7～8件/週、圏域ごとに2～3件/週) - 医療従事者にも欠勤者が多数発生し、入院医療の負荷が高まる。 【社会経済活動の状況】 - 職場で欠勤者が多数発生し、業務継続が困難になる事業者が多数発生。
		重症者数	10人	
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	2,800人	
4	医療機能 不全期	病床使用率	80%	【保健医療の負荷の状況】 - 膨大な数の感染者に発熱外来や救急外来で対応しきれなくなり、一般外来にも患者が殺到。 - 救急車を要請されても対応できない状況が発生。通常医療も含めた外来医療全体がひっ迫し、機能不全の状態。 - 多数の医療従事者の欠勤者発生と相まって、入院医療がひっ迫。 - 入院できずに自宅療養中・施設内療養中に死亡する者が多数発生。 【社会経済活動の状況】 - 職場の欠勤者数が膨大になり社会インフラの維持に支障が生じる。
		重症者数	25人	
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	5,600人	

レベル判断基準における現在の状況

1 指標の状況

	12/23 宣言時 (12/22 公表値)	12/29	1/5	1/12	1/19
病床利用率	50.2%	52.1%	50.7%	55.0%	51.3%
重症者数	5	3	4	5	7 (速報値)
1日あたり新規陽性者数 (1週間平均)	3134.6	3463.4	2659.3	3555.1	2283.0

2 事象の状況

(1) 保健医療の負荷の状況

事象（レベル3）	判断要素	12/23 宣言時	1週間前	直近 集計時
発熱外来・救急外来に多くの患者が殺到、重症化リスクの高い者がすぐに受診できない状況が発生	医療機関における 1日あたり検査件数 (1週間平均)	12/15	1/5	1/12
		4,105	3,435	4,252
救急搬送困難事案が急増 ・県全体7～8件/週 ・圏域毎2～3件/週	県内消防本部における 搬送困難事案件数 (週計)	12/18	1/8	1/15
		全県 24 岐阜 9 西濃 1 中濃 1 東濃 13 飛騨 0	全県 14 岐阜 3 西濃 0 中濃 3 東濃 8 飛騨 0	全県 56 岐阜 19 西濃 0 中濃 12 東濃 25 飛騨 0
医療従事者にも欠勤者が多数発生し、入院医療の負荷が高まる	入院制限を行っている 医療機関数	12/22	1/11	1/18
		17	18	18

(2) 社会経済活動の状況

事象(レベル3)	判断要素	状況(1/6～1/12 聞き取り)
職場で欠勤者が多数発生し、業務継続が困難になる事業者が多数発生	業務継続が困難な事業者の発生状況(関係団体への聞き取り結果)	【県内商工関連団体・機関】 ・コロナの影響で休業等している事業者は多くないとの印象を持っている。宿泊業で人手不足により客室を制限している事業者や、新年会の中止による飲食のキャンセルが出ているケースがあると聞いている。 ・一部事業者において、従業員等の罹患や濃厚接触者の増加により、納期遅れ等の事業遅滞が出ているとの情報がある。 ・来街者は第8波に入ってからずっと減っている。年末年始も多くなかった。 ・一方で、年末年始の観光客は多く、久しぶりにコロナ前のような印象だった。 【県内金融関連団体】 ・社会経済活動に影響が出ているという状況はない。 【県内観光関連団体】 ・全体として大きな影響・混乱はない。 ・県内小規模宿泊施設において、調理部門の従業員が感染したため、数日休業したという事例あり。

岐阜県医療ひっ迫防止対策強化宣言

令和5年1月19日延長決定
実施期間：令和4年12月23日～令和5年2月12日
岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部

本県では、12月23日に「レベル3：医療負荷増大期」と位置づけ、基本的対処方針（新型インフルエンザ等対策特別措置法18条）に基づき、「医療ひっ迫防止対策強化宣言」を発出するとともに、「医療ひっ迫防止対策強化地域」の指定を受け、対策に取り組んでまいりました。

年末年始の取組みとして、初詣での対策などを要請した結果、例年に比べて参拝の分散が進むといった成果がありました。また、一時は4千人近くまで増加した一日あたり新規陽性者数（1週間平均）は、直近では2千人台前半まで減少していますが、まだまだ多い人数と言えます。

病床使用率は依然50%を超えて推移しているほか、医療従事者の感染者増加などにより、入退院や救急医療を制限している医療機関が、昨日時点で18機関(12/22：17機関)あります。救急搬送困難事案に至っては、直近1週間(1/9～1/15)で56件(12/12～12/18：24件)とむしろ急増しています。

そして、1月に入って、本県でも3シーズンぶりに季節性インフルエンザが流行入りし、新型コロナとの同時流行となりました。

こうした状況から、全体としての医療の負荷は減少しておらず、「いつもなら普通に受けられる医療もすぐには受けられない」深刻な状況は続いています。

また、第8波では、過去の波と比べても最多となる374人の陽性者が亡くなられています。加えて、後遺症で1年近く通院する例や休職や休学を余儀なくされる例もあるなど感染そのもののリスクも軽視できません。

さらには、現在、世界各地で新たな変異株が報告され、本県においても「BQ.1系統」をはじめとする変異株が見つかっており、警戒、監視を継続する必要があります。

こうした状況を踏まえ、今月22日を期限としていた「岐阜県医療ひっ迫防止対策強化宣言」の実施期間を延長いたします。

県民、事業者、医療機関、市町村の皆様におかれましては、ご自身やご家族など大切な人を守るため、引き続き、以下の対策を「オール岐阜」一丸で徹底いただきますよう、特措法24条9項に基づき、要請いたします。

対策のポイント

1 県の取組み

<ワクチン接種の加速化>

- 県大規模接種会場（岐阜産業会館）を2月も開設するとともに、モデルナ社ワクチンに加えて、ファイザー社ワクチン及び武田社ワクチン（ノババックス）による接種を実施
- 市町村接種や職域接種へのサポートの徹底
- あらゆる媒体を通じた広報を実施し、特にSNSやYouTubeを活用した若者向け広報を徹底

<医療体制の機能確保・強化>

- 県陽性者健康フォローアップセンターの機能強化
 - ・一日の検査キットの配送 1,000 個 → 1,500 個
 - ・確定診断可能人数 500 人/日 → 1,000 人/日
 - ・相談対応体制の強化 650 件/日 → 1,700 件/日
 - ・自宅療養をされている低リスクの軽症者のうち、診察が必要となった中学生以上の方への休日オンライン診療を導入(12/31～)
- 外来医療体制の確保・強化（後述「4 医療機関への要請」）

<検査体制の強化>

- 薬局などにおける無料検査（計 226 カ所）を2月末まで延長
- 福祉施設、児童施設及び小学校の職員への予防的検査を2月末まで延長

<広報の徹底>

- 感染リスクの高い行動事例集を、ポスターやSNSにて幅広く周知

2 県民の皆様への要請

※以下、特措法 24 条 9 項による協力要請

<感染防止対策の徹底>

- 3～5回目（オミクロン株対応）及び小児・乳幼児への速やかなワクチン接種
- 適切なマスク着用、手指衛生、密回避、こまめな換気、体調不良の際はすべての行動ストップといった基本的な感染防止対策の徹底
- 学校・部活動、習い事・学習塾、友人との集まりでの感染に特に注意

＜体調不良時の対応＞

○重症化リスクが低い方（高齢者、基礎疾患のある方、妊婦などと小学生以下の子ども以外の方）は、発熱外来を受診する前に、検査キットによるセルフチェックを行い、陽性の場合は、健康フォローアップセンターに登録（症状が重いと感じる場合には、電話相談や受診を）

○夜間や休日における体調不良の際は、まずは専門WEBサイトや電話相談窓口を利用

※WEBサイト：「救急車利用マニュアル」

<https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post2.html>

「こどもの救急」

<http://kodomo-qq.jp/>

※電話相談窓口：岐阜県健康相談窓口 058-272-8860（24 時間）

子どもの急病などの相談窓口 #8000 または 058-240-4199

○救急外来や救急車の利用は、真に必要な場合に限る

＜検査の活用＞

○感染者と接触があった際の早期検査

○帰省時など高齢者や基礎疾患のある方と会う際の事前検査

○福祉施設利用者が一時帰宅などで親族と過ごした後には検査を徹底

＜外出、飲食、イベントにおける対応＞

○混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出など、感染拡大につながる行動を控える

○飲食店での大声や長時間の飲食回避、会話の際のマスク着用を徹底するとともに、大人数の会食への参加は見合わせることも含めて慎重に検討

○大規模イベントへの参加は見合わせることも含めて慎重に検討

3 事業者の皆様への要請

＜感染防止対策の徹底＞

○ワクチン接種のための休暇の取得など、従業員やその家族が接種しやすい環境づくり

○テレワーク（在宅勤務）などの推進

○人が集まる場所での感染対策の徹底

・従業員への検査の勧奨 ・適切な換気 ・手指消毒設備の設置

・入場者の整理、誘導 ・発熱者などの入場禁止 ・入場者のマスク着用などの周知

- 福祉施設における抗原検査キットなどを活用した集中的検査の推進
- 飲食店での十分な換気・座席間隔の確保またはパーティション設置

＜業務継続体制の確保＞

- 住民、取引先、顧客などに対し、一時的に業務停止する場合があることやその際の対応について事前に周知するなど、多数の欠勤者の発生に備えた業務体制を確保

＜学校入試における対応＞

- 各学校において、感染防止対策のガイドラインなどに従い、入学試験会場における感染防止対策を徹底

4 医療機関への要請

＜医療体制の機能確保・強化＞

- 新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンとの同時接種に対する有効性・安全性の理解と接種の促進
- 希望する方が医療機関を受診し、その後も安心して診療を受けられるよう、診療・検査医療機関の増加、診療時間の延長や休日診療体制の拡充など外来診療を強化
 - ・診療・検査医療機関数
R4/11/9:808 機関→12/23:823 機関→R5/1/19:825 機関(+17 機関)
 - ・年末・年始(12/29～1/3 の6日間)における休日診療体制
R3: 延べ 569 機関 → R4: 延べ 856 機関 (+延べ 287 機関)
- 濃厚接触となった医療従事者が待機期間中であっても抗原定性検査を行い、医療に従事できる運用を可能な限り実施

5 市町村への要請

＜ワクチン接種の加速化＞

- あらゆる媒体による広報や未接種者へのダイレクトメッセージによる接種の呼びかけを行うとともに、個別接種、集団接種を加速化
とりわけ接種が進んでいない市町村は、より一層の取組みを徹底

＜感染防止対策の徹底＞

- 感染拡大傾向が顕著な市町村については、独自の対策を策定
※策定済み：高山市、中津川市、恵那市、各務原市、飛騨市、郡上市、下呂市、岐南町、北方町、御嵩町、白川村

2/12まで
延長！

新型コロナウイルス感染症

岐阜県医療ひっ迫防止対策強化宣言

- 本市では、12月23日に「岐阜県医療ひっ迫防止対策強化宣言」が県から発出されて以降、一日あたりの新規感染者数は減少してきておりますが、未だ医療の負荷は減少しておりません。
 - 本市の人口10万人あたり新規感染者数(7日間移動合計)は、1月19日(木)時点で**853.9人**まで**減少**
 - 県内の**病床使用率は、50%を超えて推移**
 - 医療従事者の感染等により**一般病棟や救急医療を制限**する医療機関は、12月と変わらず**多い**
 - **救急搬送困難事案**※は、12月23日に宣言が発出された頃よりも**多数発生**
※4か所以上の病院を探し、30分以上の時間をかけて、やっと受入病院が見つかる状況
- 冬の時期は、脳卒中や心筋梗塞など生命にかかわる病気が起こりやすい時期でもあり、現状では、**医療を必要とする病気に万一罹患しても、受入医療機関が中々見つからない可能性があります。**
- また、季節性インフルエンザが本市で3年ぶりに流行入りし、新型コロナと同時流行となりました。
- こうした状況から本日、県において「**岐阜県医療ひっ迫防止対策強化宣言**」※が**延長**されました。
※新型インフルエンザ等対策特別措置法第18条に基づく
- 市民の皆様、事業者の皆様におかれましては、新型コロナも季節性インフルエンザも日頃取るべき対策は同じですので、**日々の感染防止対策を徹底**していただきますようお願いいたします。

令和5年1月19日 岐阜市長 柴橋 正直

市民の皆様へ

基本的な感染防止対策

- 暖房中の室内でも「**こまめな換気**」を忘れずに！
- 必要な場面での「**マスクの着用**」、「**手指衛生**」、「**密回避**」を実践！
- 発熱はもちろん、のどの痛み等、**少しでも体調不良の時は、全ての行動をストップ！**
- 重症化リスクが低い方※は、体調に異変を感じたら、ご自身で検査キットによるチェックを行い、陽性の場合は、岐阜県陽性者健康フォローアップセンターに登録を！
(症状が重いと感ずる場合には、電話相談や受診を)

※高齢者、基礎疾患のある方、妊婦などと小学生以下の子ども以外の方

ワクチン接種

- ワクチンには、**感染予防効果**や**感染しても発症を予防する効果**、**重症化リスクを下げる効果**があり、ワクチン未接種の方と比べて口や鼻から出るウイルス量が減ると言われているため、**他者へ感染させるリスクを下げる効果**もあります。
- 2月から市役所と岐阜産業会館においても、ファイザー社ワクチンによる接種を実施
- 3～5回目(オミクロン株対応)及び小児・乳幼児のワクチンについて、希望される方は、速やかな接種をご検討ください。

外出、飲食、イベントにおける対応

- **混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出など、感染拡大につながる行動は控えて！**
- 飲食店では、**マスク会食**(食事は静かに、会話時はマスク着用)を**徹底！**

事業者の皆様へ

- ワクチン接種のための休暇の取得など、従業員とその家族が接種しやすい環境づくりをお願いします。
- 人が集まる場所での感染対策の徹底を！
職場でも**十分な換気の徹底**をお願いします。